



平成28年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年3月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ファーストロジック
コード番号 6037 URL <http://www.firstlogic.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂口 直大

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部部長 (氏名) 杉村 大輔

TEL 03-6833-4576

四半期報告書提出予定日 平成28年3月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年7月期第2四半期の業績(平成27年8月1日～平成28年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年7月期第2四半期	565	35.4	235	0.3	230	1.6	147	2.7
27年7月期第2四半期	417	—	234	—	226	—	143	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年7月期第2四半期	26.45	24.93
27年7月期第2四半期	29.43	—

(注) 1. 平成27年7月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため期中平均株価が把握できませんので、記載しておりません。

2. 当社は、平成26年10月15日開催の取締役会決議に基づき、平成26年10月30日付で株式1株につき200株の株式分割を行っております。このため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たりの四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年7月期第2四半期	1,863	1,694	91.0	303.68
27年7月期	1,799	1,546	85.9	282.61

(参考) 自己資本 28年7月期第2四半期 1,694百万円 27年7月期 1,546百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年7月期	—	0.00	—	0.00	—
28年7月期	—	0.00	—	—	—
28年7月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年1月26日開催の取締役会において、平成28年7月31日を基準日とする記念配当を実施することといたしました。

3. 平成28年7月期の業績予想(平成27年8月1日～平成28年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,251	37.1	575	22.3	551	19.9	369	28.5	66.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年7月期2Q	5,581,400 株	27年7月期	5,472,400 株
28年7月期2Q	43 株	27年7月期	— 株
28年7月期2Q	5,566,516 株	27年7月期2Q	4,872,400 株

平成26年8月14日付で自己株式8,138株を消却しております。

平成26年10月30日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済政策及び金融政策により、企業業績や雇用情勢が緩やかに回復しております。中国やブラジル等、新興国の景気の下落リスクが存在しているものの、企業の設備投資の動きが広がりを見せていることや、訪日外国人の消費が大きく増加しており、全体として緩やかな回復基調で推移しております。

このような環境の下、当社は「公正な不動産投資市場の構築」をビジョンとして、不動産投資ポータルサイト「楽待」を運営してまいりました。

「楽待」では、「楽待新聞」やメールマガジンを通じて不動産投資家への有益なコンテンツの提供を引き続き行った結果、平成28年7月期第1四半期は2,245万PV(前年同期比82.8%増)、第2四半期は2,332万PV(前年同期比76.0%増)となりました。また投資用不動産情報サイトランキングで「ウェブサイトの使いやすさ」「情報量とコンテンツ」「便利な機能・サービス」の3カテゴリで第1位を獲得したほか、3年連続総合第1位を獲得いたしました(モーニングスター株式会社ゴメスコンサルティング事業部調べ)。

これにより会員数やユニークユーザー数が順調に推移しております。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は、565,753千円(前年同四半期35.4%増)となり、営業利益は235,152千円(前年同四半期0.3%増)、経常利益は230,439千円(前年同四半期1.6%増)、四半期純利益は147,248千円(前年同四半期2.7%増)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期会計期間末の流動資産は1,696,850千円となり、前事業年度末と比較して74,514千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が47,574千円の増加、売掛金が29,394千円増加したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末の固定資産は166,338千円となり、前事業年度末と比較して11,081千円の減少となりました。これは主に、有形固定資産が359千円の減少、無形固定資産が3,194千円の増加、敷金が8,279千円の減少、繰延税金資産が5,638千円減少したこと等によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末の流動負債は168,239千円となり、前事業年度と比較して84,936千円の減少となりました。これは主に、前受金が17,672千円の減少、未払法人税等が42,945千円の減少、未払消費税等が16,634千円の減少、本社移転損失引当金が4,610千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は1,694,950千円となり、前事業年度末と比較して148,369千円の増加となりました。これは主に、繰越利益剰余金が147,248千円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比較して47,574千円増加し、1,493,484千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、営業活動による資金は、54,249千円の収入(前年同期は84,433千円の収入)となりました。これは主として、税引前四半期純利益を230,439千円、売上債権の増加額29,394千円、前受金の減少額17,672千円、未払消費税等の減少額16,634千円、法人税等の支払額114,571千円を計上したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、投資活動による資金は、3,795千円の支出(前年同期は4,271千円の支出)となりました。これは敷金及び保証金の回収による収入7,251千円、有形固定資産の取得による支出5,051千円、無形固定資産の取得による支出5,995千円を計上したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、財務活動による資金は、2,879千円の支出(前年同期は2,389千円の支出)となりました。これは一部指定関連費用の支払額4,000千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入1,232千円を計上したことによるものです。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年9月14日公表の通期業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年7月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,445,910	1,493,484
売掛金	151,556	180,951
貯蔵品	74	120
前払費用	9,729	9,594
繰延税金資産	17,811	11,885
その他	—	6,386
貸倒引当金	△2,747	△5,571
流動資産合計	1,622,336	1,696,850
固定資産		
有形固定資産	44,296	43,936
無形固定資産	18,432	21,627
投資その他の資産		
敷金	107,406	99,127
破産更生債権等	659	659
繰延税金資産	5,861	222
その他	1,424	1,424
貸倒引当金	△659	△659
投資その他の資産合計	114,691	100,774
固定資産合計	177,420	166,338
資産合計	1,799,757	1,863,189
負債の部		
流動負債		
買掛金	148	—
未払金	18,837	19,490
未払費用	33,520	30,881
未払法人税等	113,739	70,793
未払消費税等	32,549	15,915
前受金	29,430	11,757
預り金	5,339	5,900
賞与引当金	15,000	13,500
本社移転損失引当金	4,610	—
流動負債合計	253,176	168,239
負債合計	253,176	168,239
純資産の部		
株主資本		
資本金	80,000	80,617
資本剰余金	963,260	963,875
利益剰余金	503,320	650,569
自己株式	—	△111
株主資本合計	1,546,580	1,694,950
純資産合計	1,546,580	1,694,950
負債純資産合計	1,799,757	1,863,189

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)
売上高	417,946	565,753
売上原価	32,532	43,391
売上総利益	385,414	522,362
販売費及び一般管理費	150,981	287,209
営業利益	234,432	235,152
営業外収益		
受取利息	21	136
償却債権取立益	15	—
消費税差額	—	240
営業外収益合計	36	376
営業外費用		
一部指定関連費用	—	5,090
上場関連費用	7,577	—
営業外費用合計	7,577	5,090
経常利益	226,891	230,439
税引前四半期純利益	226,891	230,439
法人税、住民税及び事業税	79,810	71,625
法人税等調整額	3,662	11,565
法人税等合計	83,472	83,191
四半期純利益	143,418	147,248

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	226,891	230,439
減価償却費	2,072	8,116
上場関連費用	7,577	—
一部指定関連費用	—	5,090
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,284	2,823
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,246	△1,500
受取利息及び受取配当金	△21	△136
売上債権の増減額(△は増加)	△31,146	△29,394
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,637	△45
未払金の増減額(△は減少)	△7,963	△437
未払費用の増減額(△は減少)	△1,533	△2,543
前受金の増減額(△は減少)	8,169	△17,672
未払消費税等の増減額(△は減少)	3,140	△16,634
その他	△26,332	△9,420
小計	179,531	168,684
利息及び配当金の受取額	21	136
法人税等の支払額	△95,119	△114,571
営業活動によるキャッシュ・フロー	84,433	54,249
投資活動によるキャッシュ・フロー		
敷金及び保証金の回収による収入	—	7,251
有形固定資産の取得による支出	—	△5,051
無形固定資産の取得による支出	△4,271	△5,995
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,271	△3,795
財務活動によるキャッシュ・フロー		
上場関連支出	△2,389	—
一部指定関連費用の支払額	—	△4,000
自己株式の取得による支出	—	△111
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	1,232
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,389	△2,879
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	77,772	47,574
現金及び現金同等物の期首残高	285,656	1,445,910
現金及び現金同等物の四半期末残高	363,428	1,493,484

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成26年8月1日 至 平成27年1月31日)

当社は、不動産投資ポータルサイト事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間(自 平成27年8月1日 至 平成28年1月31日)

当社は、不動産投資ポータルサイト事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。